

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER Month 7



医療安全管理者から 皆さんと共に医療安全を...

高橋 美保

医療安全の確保が国をあげての取り組みとなっている現在において、当院は平成17年度から医療安全管理者が専任となりました。前医療安全管理者よりこの役割を引き継ぎ、はや1年4ヶ月が経ちます。日々、提出されるインシデントレポートへの対応を始めとして、機構本部から求められている毎月の医療上の事故報告、医療安全チェックシートの活用、労災病院間医療安全相互チェック、医療安全推進週間行事の実施、職員への医療安全研修開催...等、様々な活動を通して医療安全について考えてきました。そして今“いかに病院の安全文化を醸成することができるか”が重要であると実感しています。そのために、まず現場の皆さんとコミュニケーションをとり組織横断的に活動することを自分の目標としています。何かあってもなくても、現場に出向き皆さんと共に安全について考えていきたいと思っておりますのでいつでも気軽に声をかけてください。



第9回 日本医療マネジメント学会

北6病棟 三浦 久美

～医療のより良い提供体制とより良い利用方法を求めて～

医療マネジメント学会ではより良い医療の質を求めて、医師・看護師・薬剤師等コメディカル・事務など多職種参加のもと、760題もの講演がありました。中でも、クリティカルパスでは医療の標準化・電子化・研究と多彩な内容の講演、発表でした。最近では、地域連携パスが注目されており、当院でも取りくまなければならない課題だと思います。また教育講演では「失敗学のすすめ」と題して、責任追及と原因追究を分離し、失敗に対する考え方を変える必要があることや、産業界での労働災害が医療現場にも当てはまることなど、興味深い内容でした。医療に係わる私たちが、しっかりと現実を見つめ、日々の業務に取り組んでいかなければならないと思いました。

心にしみる演奏に感激

セタコンサート

～ハーモニカ・サクソ・キーボード演奏～



7月5日薬局前ホールにおきまして、今年も恒例のセタコンサートが開催されました。今回は、今治の音楽教室で教えています方々(小澤様・窪田様)による、ハーモニカ・キーボード等の演奏・合唱が響き渡りました。懐かしの「青い山脈」や、今話題の「千の風になって」など、どれも楽しんで聞けるものばかりでした。病気療養中の皆さまに少しでも、“和みと癒しのひと瞬間を”とはじまったコンサートは大盛況でした。7月7日はあいにくの天気でしたが、皆さんの願いはきっと天に届けられたことでしょう。



編集後記

うっとおしかった梅雨があげ、
 厳しい陽射しにぐったり。
 夏本番を前にギブアップ...。
 皆さんは体調大丈夫？
 活力源＝リフレッシュ
 を上手に、暑さに
 立ち向かいましょう。

by 山内

つぶやき・・・JUL.2007

くよくよするのは